


戦略区分	戦略2 若者と仕事を創り出す！雇用創出戦略！			整理 No.	3											
戦略事業名 (予算事業)	「お～い★さかな君」発掘・育成事業	担当課	農林水産振興課													
	(「お～い★さかな君」発掘・育成事業)	H28 実績額	1, 274 千円													
		H29 予算額	1, 967 千円													
事業の概要	<p>御食国・若狭を支える大島の漁業の一層の活性化に向けて、漁業に従事することを希望する若者の自立に向けた支援を行うと共に、新規就漁者の募集を実施する。内容としては、①ふくい水産カレッジ入校者の費用負担 ②水産振興に係る地域おこし協力隊・移住定住者の募集 ③就漁総合支援事業としてのふくい水産カレッジ受講に伴う交通費補助、就漁者への住宅確保を支援する。</p>															
これまでの実績	<p>《平成 28 年度》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくい水産カレッジに 3 名入校 ・入校者送迎を行っている大島漁業協同組合への交通費補助実施 ・入校者 2 名に対しての受講費用負担を実施（1 名は国の OJT 制度利用） <p>《平成 29 年度》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくい水産カレッジに 2 名入校 ・都市部で開催された地域おこし協力隊の募集セミナーに参加（3 会場） 				 <p>平成 29 年度ふくい水産カレッジ入校式 （大島在住 時田氏による決意表明）</p>											
KPI・数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>数値目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規漁業従事者数</td> <td>(H31)</td> </tr> <tr> <td>(H26 -)</td> <td>累計 10 人</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	数値目標	新規漁業従事者数		(H31)	(H26 -)	累計 10 人		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状</th> <th>KPI 達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H29.5 月末)</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>5 人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状	KPI 達成率	(H29.5 月末)	50%	5 人	
評価指標	数値目標															
新規漁業従事者数	(H31)															
(H26 -)	累計 10 人															
現状	KPI 達成率															
(H29.5 月末)	50%															
5 人																
今後の取組	<p>(平成 29 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくい水産カレッジ入校者に係る費用負担及び交通費助成 ・水産振興に従事をする地域おこし協力隊及び移住定住希望者を探すため、フェア・イベント等への積極的参加（計 7 回） 															
今後の PR・方向性	<p>引き続き、ふくい水産カレッジ入校に係る交通費助成や・費用負担を行うと共に、水産振興に係る地域おこし協力隊や移住定住希望者をイベントやフェアを通じて見つけ出す。</p>															

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成 果	<p>○平成28年度：ふくい水産カレッジの入校（受講者2名、H28.5月～H29.4月）に際し、受講費用及び交通費の必要経費の一部を助成することにより、新たな就漁者が確保できた。（国のOJT制度利用による受講者を含め、全部で3名が新規に就漁）</p> <p>○平成29年度：新たな就漁者を確保するため、昨年度に引き続き、ふくい水産カレッジへの入校（受講者2名、H29.4月～H30.3月）に対する支援を継続中。また、地域おこし協力隊の募集活動を行うため、都市部で開催された募集セミナー等へ参加。</p>
課 題	<p>大島漁協から要望のあった水産振興従事者を確保するため、漁協とともに都市部で開催された従事者等募集セミナーに参加しているが、要望に沿った人材を確保するのは難しい状況である。今後も引き続き、漁協と連携を図りながら、必要な人材確保に努めていくこととしたい。</p>

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	<p>・新規就漁に向けた継続的な取組が進められていると考える。なお、雇用に関しては売り手市場になっているため、雇用条件の設定についても検討する必要がある。</p>
KPI 達成状況・見直し	<p>・事業の利用希望者とのマッチング時期にもよるが、達成は概ね可能。</p>
その他	<p>・特になし。</p>

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	<p>地域おこし協力隊の活用も含め、従事者の確保に取組まれたい。</p>
----------------	--------------------------------------

戦略区分	戦略2 若者と仕事を創り出す！雇用創出戦略！			整理 No.	4-1
戦略事業名 (予算事業)	1次産業スタート支援事業	担当課	農林水産振興課		
	(一次産業スタート支援事業)	H28 実績額	- 千円		
		H29 予算額	988 千円		
事業の概要	旧大島公民館を改修し、1次産業従事者のためのセミナーハウスとして活用する際の光熱水費等のほか、本町に移住し、就農する者に対し住宅費を補助する。				
これまでの実績	実績無し				
KPI・数値目標	評価指標	数値目標	現状	KPI 達成率	 セミナーハウスとして改修する 旧大島公民館
	農林水産業 新規就業者数 (H26 3人)	H31 累計 10人	H29.5 月末 0人	0%	
今後の取組	平成 29 年度において、旧大島公民館をセミナーハウスとして改修するとともに体験農業・漁業等参加者の受け入れ態勢を整備する。 改修する施設は、平成 30 年度より運用開始予定。				
今後の PR・方向性	包括連携協定を締結している近畿大学及び京都学園大学をはじめ、就農・起業女子応援業務を委託している関西学院大学、また、近隣の農業高校等に1次産業が体験できるセミナーハウスをPRしていく。 新規就農者へ家賃補助することにより、今後、セミナーハウス利用者が本町で就農するきっかけとなることを期待している。				

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成果	新規事業
課題	今後、セミナーハウスの整備に伴い、当該施設の管理方法及び管理者等について、その内容を確定していかなければならない。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	・一時的な住居としての側面から計画されているため、運用時は実際のニーズとすり合わせる必要がある。
KPI達成状況・見直し	・『No.3「お～い★さかな君」発掘・育成事業』のKPIと棲み分けていることから、数値は0となっているが、継続した取組を進める。
その他	・特になし。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	（特段の言及なし）
---------	-----------

戦略区分	戦略2 若者と仕事を創り出す！雇用創出戦略！			整理 No.	4-2
戦略事業名 (予算事業)	1次産業スタート支援事業	担当課	農林水産振興課		
	(一次産業スタート支援事業(セミナーハウス整備))	H28実績額	- 千円		
		H29予算額	57,302 千円		
事業の概要	<p>旧大島公民館を1次産業従事者・体験農業等参加者が利用するセミナーハウスとして改修する。 *地域住民をはじめ一次産業従事者と意見交換し、改修案を作成。地域住民とセミナーハウス利用者が交流できる施設を目指す。</p>				
これまでの実績	平成29年度新規事業(平成28年度繰越)				
KPI・数値目標	評価指標	数値目標	現状	KPI達成率	
	農林水産業 新規就業者数 (H26 3人)	H31 累計10人	H29.5月末 0人	0%	
今後の取組	平成29年度において、旧大島公民館を改修し、新規就農・林・水産漁業者のためのセミナーハウスとして運用を開始する。				
今後のPR・方向性	本町への移住希望者を積極的に探し求め、彼らのニーズに対応した幅広い支援を検討していく必要がある。				

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成果	平成 29 年度新規事業（平成 28 年度繰越事業）
課題	本町への移住希望者を積極的に探し求め、支援の範囲についても、彼らのニーズに対応した幅広い内容を検討していく必要がある。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	・一時的な住居としての側面から計画されているため、運用時は実際のニーズとすり合わせる必要がある。
KPI 達成状況・見直し	・『No.3 「お〜い★さかな君」発掘・育成事業』のKPIと棲み分けていることから、数値は0となっているが、継続した取組を進める。
その他	・特になし。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	（特段の言及なし）
---------	-----------

戦略区分	戦略2 若者と仕事を創り出す！雇用創出戦略！			整理 No.	5												
戦略事業名 (予算事業)	「儲ける」1次産業支援事業	担当課	農林水産振興課														
	(「儲ける」一次産業支援事業)	H28実績額	5,049千円														
	(漁業近代化施設等整備事業)	H29予算額	5,006千円														
事業の概要	<p>農林水産業における経営基盤の整備及び強化を図るための支援を行うとともに、加工品開発やブランド化による付加価値の高い商品開発を推進する。加えて、販売ルート拡大などにより、効率的で自立した、第1次産業の経営体を育成する。</p> <p>内容：①専門家によるブランド化研修会の開催、商品開発指導、②販売促進戦略調査、③プロトン凍結機導入支援</p>																
これまでの実績	<p>《平成28年度》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化研修会の開催(特産加工グループや農業者など21人が受講) ・販売促進戦略調査の実施(アマダイの商品化、首都圏への販路拡大) ・大島漁協のプロトン凍結機導入への補助 				 <p>若狭甘鯛のしゃぶしゃぶセット</p>  <p>商品開発研究の様子</p>												
KPI・数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>数値目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新商品開発数</td> <td>(H31)</td> </tr> <tr> <td>(H26 -)</td> <td>累計5件</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	数値目標	新商品開発数		(H31)	(H26 -)	累計5件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状</th> <th>KPI達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H29 5月末)</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>4件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現状	KPI達成率	(H29 5月末)	80%	4件			
評価指標	数値目標																
新商品開発数	(H31)																
(H26 -)	累計5件																
現状	KPI達成率																
(H29 5月末)	80%																
4件																	
今後の取組	<p>(平成29年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいおいブランド認証制度の構築 ・専門家の招聘による商品開発、販路拡大に関する指導 ・新市場創設支援(町産品輸送費補助) 																
今後のPR・方向性	<p>ブランド認証制度を構築し、商品の高付加価値化と認知度の向上と、認証を目指した取り組みによる商品の高品質化を図り、新販路の開拓につなげる。</p>																

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成 果

平成 28 年度においては、ブランド魚「若狭グジ」の規格外となるアマダイに絞って、商品開発とバイヤーへの商品提示を実施したが、首都圏における販路の確保にはつながらなかった。

他方、プロトン凍結を活かした質・単価の高い商品を開発し、関西向けのカatalog通販及びふるさと納税返礼品に出品することになったことにより、広範囲において商品や産地の認知が進むことが期待できる。

課 題

ブランド認証制度構築では、生産者や事業者の協力が得られないと事業が立ちごけになる恐れがある。事業効果を十分に発揮するため、制度の活用による効果について、十分な理解を得ることが必要である。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果

・生産者や事業者の意欲を高めるような取組を進めつつ、高付加価値化及びブランド化を進める必要がある。

K P I 達成状況・見直し

・可能であると考える。



その他

・特になし。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘

（特段の言及なし）

戦略区分	戦略2 若者と仕事を創り出す！雇用創出戦略！			整理 No.	6
戦略事業名 (予算事業)	まるごとジビエ特産事業	担当課	農林水産振興課		
	(まるごとジビエ特産事業)	H28 実績額	383 千円		
		H29 予算額	425 千円		
事業の概要	<p>獣肉を得るための狩猟ハンターへの支援から、食材として活用し、町の特産品としてPRするための支援まで、一体的に取り組む。また、ジビエ料理・加工品の開発・研究に取り組むにあたり、町の料理人等と連携し、地域の特性を活かす。</p>				
これまでの実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 獣解体施設等先進地視察調査（京都府南丹市美山町） ・ 猟友会員対象の「とめさし技術習得講習会」の実施 ・ 町内料理人等へ獣肉（シカ・イノシシ）を提供し、ジビエ料理等のメニュー開発を依頼 				
KPI・数値目標	評価指標	数値目標	現状	KPI 達成率	
	ジビエ料理開発件数 (H26 -)	H31 年度 累計5件	H28 末 2件	40%	
今後の取組	(平成29年度) <ul style="list-style-type: none"> ・ 猟友会員対象の「とめさし技術習得講習会」の実施 ・ ジビエ料理メニューの試食会を開催し、意見交換を行い、的を絞ったメニュー開発に取り組む。 				
今後のPR・方向性	町内で捕獲された獣の有効活用を図るため、更なる「とめさし技術」の向上を図り獣肉有効活用を推進するとともに、町の特産となるようなジビエ料理メニューの開発を進める。併せて、解体施設整備の必要性についても検討する必要がある。				

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成 果	「とめさし講習会」や「ジビエ解体施設視察」などを実施し、捕獲に携わる猟友会員の獣肉活用に対する意見を聞くことができた。また、獣肉（シカ肉・イノシシ肉）を町内の料理人等へ提供することで、ジビエ料理メニューの提案を2件得ることができた。
課 題	有害獣を捕獲してから、適時処理（前処理→解体処理）をして、ジビエ料理等として付加価値を生み出していく一連の取組について、採算性や地元猟師のこれらの取組に対する考え方などを集約、整理し、他の事例等を参考に、課題を解消しながら、さらなる機運を高めていくことが必要。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	・有害鳥獣対策を取り巻く環境が成熟してきていることがうかがえる。その一方で、地元猟師が継続してジビエなど有効活用が行えるよう対応できる体制整備を進めることが必要である。
KPI達成状況・見直し	・目標達成を目指しつつ、継続して取組を進める。
その他	・特になし。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	（特段の言及なし）
---------	-----------

戦略区分	戦略2 若者と仕事を創り出す！雇用創出戦略！				整理 No.	7-1								
戦略事業名 (予算事業)	I J Uターン起業促進支援事業		担当課	商工観光振興課										
	(I J Uターン等起業促進支援事業)		H28 実績額	10,000 千円										
事業の概要		<p>町の特定創業支援事業計画に沿って、新規創業及び二次創業推奨することにより、商工業の活性化を図り、減少傾向を辿る町内事業者数の確保を図るとともに、I・J・Uターンの契機を創出する。</p> <p>町内において創業を希望する方に対し、創業時の負担を軽減するため、初期投資等に係る費用の2/3(上限5,000千円)を助成する。</p>												
		これまでの実績	H28において2件(いずれも補助金額は5,000千円)異種業種への事業拡張に対して助成を行った。											
		KPI・数値目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="479 772 826 855">評価指標</th> <th data-bbox="826 772 1066 855">数値目標</th> <th data-bbox="1066 772 1137 855"></th> <th data-bbox="1137 772 1375 855">現状</th> <th data-bbox="1375 772 1525 855">KPI達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="479 855 826 1098"> 当該事業を利用した起業件数 (H26 -) </td> <td data-bbox="826 855 1066 1098"> H31 累計10件 </td> <td data-bbox="1066 855 1137 1098"></td> <td data-bbox="1137 855 1375 1098"> H28 2件 </td> <td data-bbox="1375 855 1525 1098"> 20% </td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	数値目標		現状	KPI達成率	当該事業を利用した起業件数 (H26 -)	H31 累計10件		H28 2件	20%	
評価指標	数値目標		現状	KPI達成率										
当該事業を利用した起業件数 (H26 -)	H31 累計10件		H28 2件	20%										

 || **今後の取組** | 町外からの新規創業を促進させるため、企業誘致パンフレットの更新に併せて、制度紹介を行う。 | | | | | H28 例：マルヤ国際商事(株) |
| **今後のPR・方向性** | HPでの制度PRの他、商工会での相談窓口設置により制度の効果的な運用を図る。チャレンジショップと連携し、段階的な移住・定住施策として推進する。 | | | | | |

当該事業における成果と課題（各課で記載）


成 果	H28 において 2 件（いずれも補助金額は 5,000 千円）異種業種への事業拡張に対して助成を行った。 また、事業活用の相談件数は町内の二次創業で 2～3 件あり、H29 において活用の見込みがある。
課 題	町内の二次創業者について、ニーズが拡大する可能性があるため、他の補助制度も踏まえて、制度設計の見直しも検討する。また、異業種への二次創業も認めているが、異業種と認めるルールを明確化すべき。 IJU ターンに伴う新規創業を促進するため、町外に対して制度のアピールをする工夫が必要。県人会や学生政策コンテストの活用も検討する。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果	・事業の活用は一定進んでおり、今後も二次創業における広がりが期待できるのではないかと。一方で、上記課題にも記載の通り、新規創業を促すための取組も求められる。
K P I 達成状況・見直し	・現状でも積極的な問い合わせがあるなど、目標の達成に向けては明るい方向である。
その他	・現役の商工業者に対する支援、町外の事業者等への制度 P R も必要である。

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘	町内の雇用及び一次創業での活用の促進につながるような運用に期待する。ホームページ等での積極的な情報発信に努められたい。
---------	---

戦略区分	戦略2 若者と仕事を創り出す！雇用創出戦略！				整理 No.	7-2
戦略事業名 (予算事業)	IJUターン起業促進支援事業		担当課	商工観光振興課		
事業の概要	<p>うみんぴあ大飯のさらなる活性化の側面から、町に賑わいを創出し、かつ新規起業家等育成、支援を行うことを目的として、事業意欲のある創業希望者が気軽に創業を体験することができるチャレンジショップを整備する。H29では、町に見合う施設の規模や運営計画を策定する。</p>					
これまでの実績	H29において電源地域振興センターへチャレンジショップ運営計画策定業務を委託した。(契約日：H29.6.1)					 <p>イメージ (新潟県 上越妙高駅前 フルサット)</p>
KPI・数値目標	評価指標	数値目標		現状	KPI 達成率	
	—				—%	
今後のPR・方向性	H29の調査結果をもとに、H30に実施設計業務及び建設に着工する。同時並行で、商工会を通じて町内外に対してプレイヤーを募集する。					H31の当初に運用開始(入居)をめざし、HPやパンフレット等でPRするとともに、商工会において募集から選定、管理等までを委託する。

当該事業における成果と課題（各課で記載）

成 果

H29より事業化しているため、現在のところ計画策定業務の発注しか実績が無い。

課 題

本事業は地元商工業者の関心が高く、彼らのニーズを十分に考慮しなければならないが、町外からの参画も必須条件である。しかしながら、町内事業者と町外からのプレイヤーでは、店舗に対する要求も異なることから、お互いが目的に沿った運用を計画する必要がある。

総合政策課ヒアリング結果（※総合政策課ヒアリング後に加筆）

評価結果

・上記課題にも記載の通り、H31当初の運用開始に向けた計画的な基盤整備が求められる。また、地元の合意形成に向けた取組とともに、地元と町外プレイヤーの調和についても検討する必要があると考えられる。

KPI達成状況・見直し

—

その他

・特になし

外部有識者 評価委員会の結果（※評価委員会後に加筆）

評価結果・指摘

・関係者をはじめとして積極的に意見交換を行うとともに、よりよい事業の構築に努められたい。